

(一財)静岡県サッカー協会 組織基盤体制について

SFAの理念

2016年度計画
企画提案

サッカーを通じ、県民の心身の健全な発達と静岡県のスポーツの振興に貢献し、豊かなスポーツ文化を醸成する。

SFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをよりの身近にするこことで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。サッカーの強化に努め、静岡県代表が日本で、世界で活躍すること、人々に勇気と感動を与える。常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

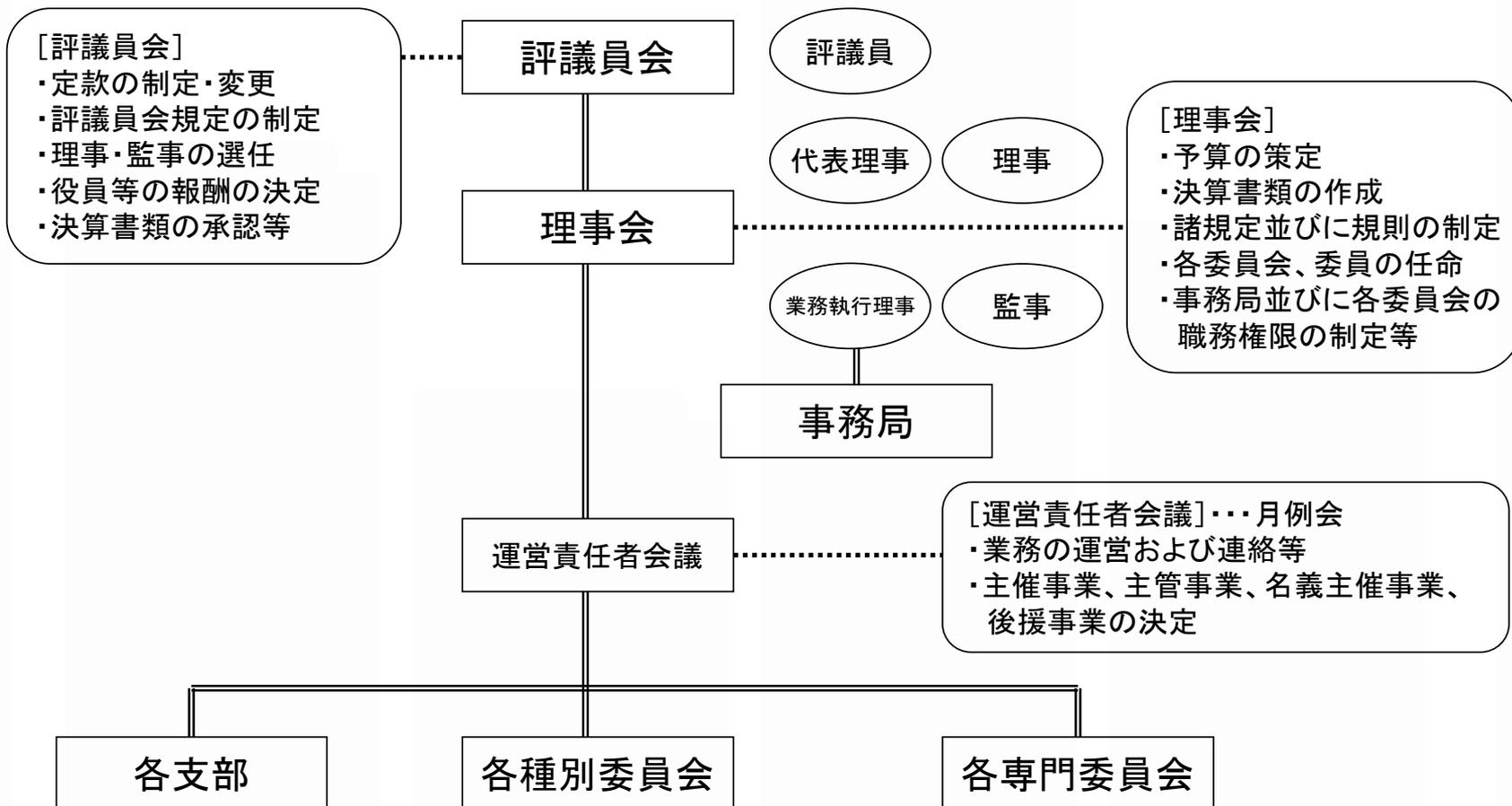


**Active
Aggressive**

SFAのスローガン

SFA組織機構

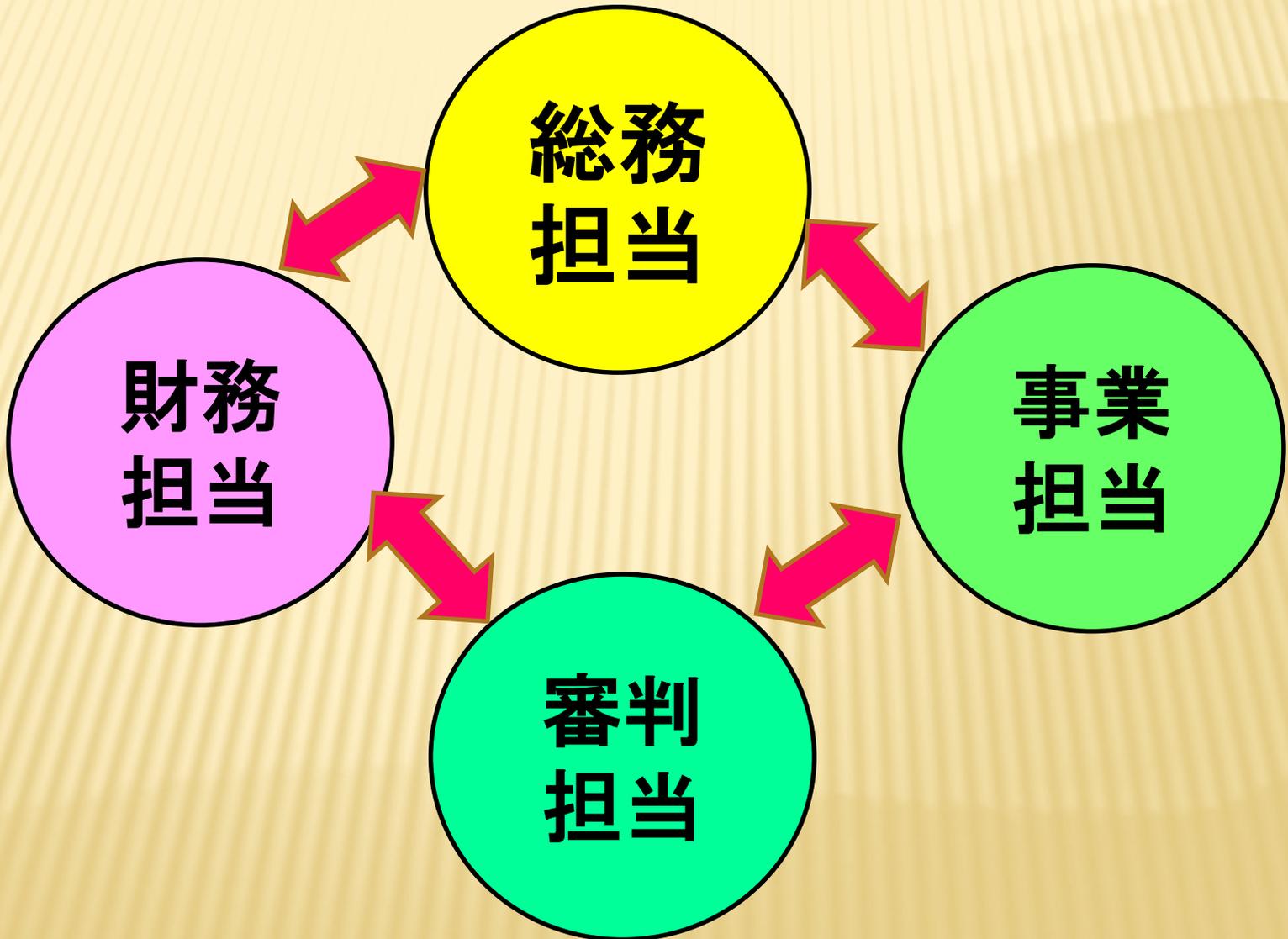
一般財団法人静岡県サッカー協会 組織図



評議員会・理事会の議決

- ・評議員会、理事会とも議決に加わることができる評議員・理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。代理出席や書面表決は認められない。

SFA事務局運営分掌担当



リスク管理委員会とは

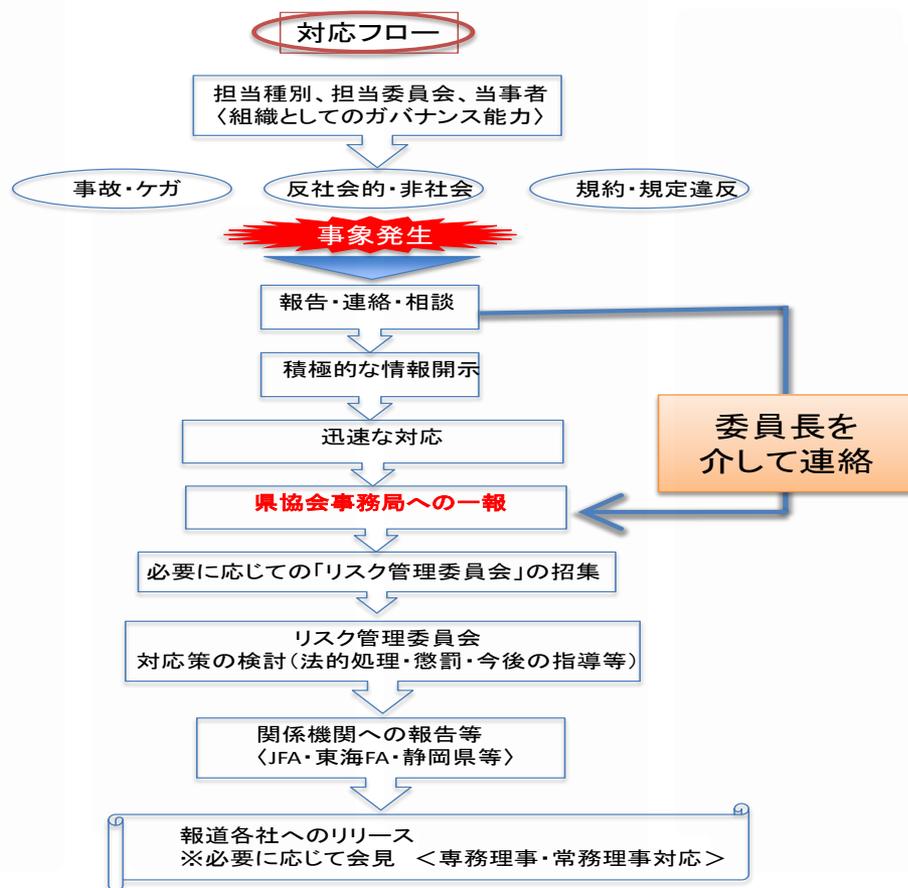
サッカー事業を推進していく上で直面するリスクやコンプライアンス違反に対し、社会的な責任を果たすために、迅速で適切な対応を管理・実行する委員会

※リスク(危険)/危険に遭う可能性や損をする可能性
※コンプライアンス(法令遵守)違反/信用失墜による活動の制限

【委員】
委員長・杉山隆一(副会長)
副委員長・竹山勝自(専務理事)
委員・深田徹(常務理事)
委員・長野哲久(監事)
委員・松本左千夫(評議員)
委員・岡本知之(評議員)
委員・鈴置修一郎(理事)

ガバナンス

コンプライアンス



登録

地域
スポーツ

競技力
向上

指定管理

主催大会
主管大会
運営

危機管理



フェス
ティバル
運営

広報発信
HP充実

審判員
育成
研修

人材育成
指導者
養成

SFAの活動

地域社会・自治体

静岡県体育協会

学校関係

メディア・報道関係



スポンサー関係

国際交流関係機関

日本サッカー協会

Jリーグ・JFL

東海サッカー協会

なでしこ・チャレンジ



各都道府県協会

フットサル

SFA 5 支部

専門委員会

種別委員会

SFAステークホルダー

SFAの約束2017の業務プラン

- サッカーファミリーを増やす。
 - 各年代で日本代表の輩出及び全国大会優勝またはベスト4以上の実現。
 - より質の高い指導者を育てる。
 - フェアプレーとリスペクトの推進を図る。
- SFAを中心とした静岡県内の関係者が共有・遂行していくものである。

業務プラン2016に向けて

業務プラン2016は、SFAの約束プラン2017の実現を目指して、代表強化、選手育成、指導者養成等の**11項目**を重点目標として推進する。

みんな(一人ひとり)が静岡のサッカーを支える。子ども(選手)の能力や可能性を伸ばす環境づくりに努める。学ぶ場や体験する機会を積極的に与える。

業務プラン2016 (トライ11)

代表強化

選手強化

指導者養成

審判員強化
普及

女子強化

国内競技会
フェスティバル

フットサル

施設

広報
発信

人材養成
マネジメント講座

危機管理
リスクマネジメント

強化・育成をさらに推進する体制づくり

育成年代における国際試合を経験し成長する環境づくりを行う。

- ◆2016SBSカップ国際ユースサッカーの開催。
- ◆スルガカップ2016静岡国際(U-15)サッカー大会の開催。
- ◆2種・3種・4種・女子への海外遠征派遣予算を計上。
- ◆人材養成も併せて実施していく。

2016年4種委員会への新たな取組み

- ◆4種登録数の減少化を分析すると同時に次の施策を実践する。
 - ①キッズ年代に関わる理解者を増やし、サッカーを通じた出会いの環境づくりに努める。グラスルーツ活動を含めたチャイルドサッカー(東部・中部・西部)に対し、今まで以上に普及推進を図る。
 - ②ボーイズ&ガールズキラキラFootball2016(仮称)の新規事業(U-9)男子・女子合同にてゲームを楽しむ場を提供し、気軽にサッカーに興じるグラスルーツを目指した活動を実施する。静岡トヨペット特別協賛による支援事業として新たな取組みをしていく。

全日本高校女子サッカー選手権大会「静岡県予選への支援」

2016年度より第25回全日本高校女子サッカー選手権大会静岡予選に対し、静岡ダイハツ販売会社が特別協賛する。地域貢献・地域発展の支援活動として、高校女子サッカーを中心に盛り上げていく。



サプライズとして
大会時の備品の運搬に使用する目的で
静岡ダイハツ販売(株)より「ウェイク」
を当協会に寄贈される。

2016クラブ・ウェルフェアオフィサー研修会の開催

- ①リスペクト、フェアプレーの啓発推進、暴力、差別等の予防活動を推進する。
- ②少年団・クラブ関係者への研修会を実施する。
- ③社会規範遵守活動の推進を図る。
- ④自チーム内でのリスペクト活動を推進するためリスペクトフェアプレー組織を立ち上げる。
- ⑤東部・中東部・中部・中西部・西部の協会登録343全チームを対象に研修会を実施する。
- ⑥東部5/22,中東部6/12,中部6/26,中西部7/10,西部7/17

選手・コーチ・保護者のRESPECT

○選手のRESPECT

自分の持てる能力でチームに貢献する。審判、相手チーム、コーチ全ての関係者に敬意を払う。ルールを尊重する。試合終了後は相手チームの選手及び審判と握手。

○コーチのRESPECT

常に前向きに手本を示す。フェアプレーを推進。
審判の判断を尊重。相手チーム、審判に敬意を払う。

○保護者(観客)のRESPECT

子どもたちは「楽しむ」ことを求めてサッカーしていることを忘れない。良いプレーは褒める。選手への指示はコーチに任せる。

2016年度47FA公益目的事業活動支援金の活用

- 公益目的活動支援金充当にあたり、事業活動計画及び事業報告業務を遂行し、マネジメント能力を高める。
- ◆普及、育成、強化、審判、指導者、トップリীগ連携、競技会運営、基盤等の大区分に予算配分をし、それぞれが主体性を持って計画(予算)・実践・報告(決算)を遂行する。**41,713,956円**JFA支援金について、JFAに交付申請書提出済み。(2/23付)

東海サッカー協会法人化設立

- 一般社団法人東海サッカー協会の組織として4月よりスタートする。
- 事務局は5風来館6階に設置。
- 一般社団法人自らが組織の運営や活動の公正を確保するための組織運営を行う。
- 地域協会が果たすべき機能・役割の明確化。
- カバナンスの強化。